

MATSUNAGA HEADLINE NEWS



2011 Vol.13
TAKE FREE
夏の増ページ号

発行元：株式会社 松永建設
 発行人：松永大祐
 〒339-0043
 埼玉県さいたま市
 岩槻区城南五丁目6番6号
 TEL：048-798-1751 (代)
 FAX：048-798-0075
 【HPアドレス】
<http://www.matsunaga.gr.jp>

労働災害ゼロ環境へ

松永建設・大樹会安全大会を開催

7月1日からの全国安全週間を前に、松永建設・大樹会安全大会が開催されました。企業が健全な発展を遂げるためには、安全に働ける職場環境の確保や、労働災害の防止が不可欠です。自覚と行動を重ね、労働災害撲滅に努めましょう。



▲代表取締役社長 松永大祐



安全宣言

- 一、墜落・転落災害をなくそう!
- 一、リスクアセスメントを推進し災害をなくそう!
- 一、交通ルールを守り事故をなくそう!

去る6月21日、市民会館いわつき大ホールにて「平成23年度 松永建設・大樹会安全大会」が開催されました。29回目となる今大会の会場には、松永建設社員をはじめ、協力会社で構成される大樹会会員各社など、550人以上が集結。来賓に春日部労働基準監督署・森田富久署長、岩槻警察署・萩原勝美交通課長、小山労務管理事務所・小山茂樹所長の3氏をお招きし、「安全」への意識一本化をはかる会が盛大にスタートしました。

開会に先立ち、物故者、そして東日本大震災の犠牲者に向けて黙祷が捧げられました。続いて川村竹男・大樹会副理事長[(株)カワムラ社長]より声高に開会宣言が発せられ、会はいよいよ本編へ。

主催者代表の松永大祐社長は、挨拶の冒頭で、未曾有の災害となった東日本大震災の犠牲者の方々に、哀悼の意を表

するとともに、復旧対応に迅速かつ全力で奮闘した各員を大いに労いました。その上で、「日本全体に先行き不透明感が漂う今こそ、我々は地に足を付け、安全第一を旨とし、再生への力となる必要」と、新たな決意を述べました。

竹内光男・大樹会理事長[竹内電気(株)社長]からは、年間完全無災害を目指そうという力強い訴えもなされました。常に安全を意識しながら作業を行う。そのためにも、安全に関するすべての想いを凝縮した合言葉を現場で交わし合うことを奨励し、会場中に「ご安全に!」が力強く響き渡ります。佐藤喜代一・大樹会理事[(株)秋元組 部長]の音頭のもと、安全宣言も高らかに唱和されました。

続いては、無事故・無災害に努めた各員に対し安全表彰が行われましたが(下記参照)、今回は震災後の復旧に特に大き

な働きを示した会員を表彰する「特別功労の部」が設けられました。

後半の第2部は、(有)辻谷工業の辻谷政久・代表取締役社長をゲストにお迎えし



▶辻谷氏が造り上げた砲丸を使用した選手は、五輪3大会で金銀銅メダルを独占した

た特別講演から。氏は、「世界で唯一完全なる中心に重心を持つ」と讃えられる砲丸の造り手です。常に前を見据えてよりよいものを造り続ける、その職人の中の職人たる氏の言葉は、ものづくりの精神と真髓を語った胸を打つものでした。最後に豪華賞品が当たる抽選会が行われ、会は大盛況のうちに幕を閉じました。

「安全」は、すべてに優先します。自分のために、そして家族の笑顔と企業の明日のために、労働災害ゼロを心に期して、この1年を頑張っていきましょう。



▲安全表彰の様子。部門ごとに壇上上がり、盛大な拍手で迎えられた

安全表彰受賞者

【特別功労の部】

- ◆竹内電気(株) ◆村中建設(株)
- ◆(株)松永建設 セールス・エンジニアリング事業部
- ◆(株)松永建設 建築部部長代理 江森英夫

【優良協力会社の部】

- ◆(有)三協設備 ◆日本道路(株)埼玉中央営業所 ◆(株)ヤマト埼玉支店
- ◆(株)ベスト ◆(株)高藤産業 ◆(有)湯沢サトー工業
- ◆(株)秋元組 ◆(株)南雲建築 ◆(株)堀井技建

【優良作業所の部】

- ◆老幹6号配水管布設管工事：鍋川原伸之 ◆江川土地区画整理事業調整池矢板工事(H22)：田中吉明 ◆道路修繕工事(一般国道463号)その7：小堀俊明 ◆見沼区有料老人ホーム新築工事：進藤 守
- ◆埼玉県川越福祉センター及び川越市南公民館ほか解体工事：武井 豊
- ◆曙ブレーキ岩槻製造各所改修工事：中山雅史 ◆エフテック各所改修工事：小川隆道 ◆久喜白岡ジャンクションBランプ橋(鋼上部工)工事：牛込光雅

【優良職長の部】

- ◆木幡 悟氏[(有)三協設備]
- ◆井上 徹氏[(有)湯沢サトー工業]
- ◆川村暢宏氏[日本道路(株)埼玉中央営業所]
- ◆鈴木正年氏[(有)佐々木左官工業] ◆三好 孝氏[(株)松伸]
- ◆日吉克夫氏[(株)南雲建築] ◆大宮永之氏[(株)ベスト]
- ◆中山 孝氏[エンドウ・エコレイズ(株)]
- ◆河原秀樹氏[(株)島村工業]

被災地
いわき・仙台
に臨んで

「がんばろう東日本！」

福島県いわき市 変わり果てた光景の中、「眠れない」「住めない」という現実と闘う日々

福島県
いわき市



◀塩屋埼灯台を遠くに望む海岸線。破壊された防波堤はどこへ消えたのか……

▲ほんの一部、家屋の基礎だけが残った光景に胸が痛む。津波に耐えた木々もほとんどが塩害で枯れかけている

家屋被害度調査のため、福島県いわき市へ

東日本大震災から2ヶ月が過ぎようとしていた5月8日。震災によって大きな被害を受けた福島県いわき市へ、当社社員が赴きました。目的は、被災した家屋を調査し、危険度を判定すること。そして、二次的な倒壊・損壊の恐怖に怯えながら住み続けざるを得ない方々に助言をし、できる限り不安解消の一助となることでした。埼玉県建築士事務所協会主導で行われた被害調査活動の様子を、当社営業本部の山崎 茂シニアエキスパートに伝えてもらいます。



◀営業本部 山崎 茂シニアエキスパート
「根こそぎ津波にさらわれた家屋跡地に、お花とお線香が供えられた光景がいくつも見られ、胸が痛みました。潮の香りと混ざり合い、白い煙となって漂う切ないお線香の香りを、私は一生忘れることはないでしょう」

危険度に応じて赤・黄・緑の紙を貼る

当日朝8時にいわき市役所に集合した一行は、各班に分かれ市内各所で検分を行いました。その結果、41棟のうち即退居の必要がある危険家屋が4棟、要注意が35棟、構造上問題なしが2棟。概観としては、木造家屋はやはり被害が大きく、次いで鉄骨ALC造にも亀裂や破損が多く見られました。特に木造建築におけるモルタル壁は、がっちり塗りと塗り固められてしまうだけに柔軟性に乏しく、剥落している家屋が散見されました。

危険家屋には赤、問題なしの家屋には緑、そして退居するほどではないが、構

造上何らかの問題がある家屋には黄。3種類の紙を貼っていく既定の作業も並行的に行いました。家は誰にとっても大切なもの。資産としての価値に加えて、住む人の想いや家族の存在などを丸ごと包み込んだ家——その「財産以上の財産」に、危険度判定という名目であれ、他人が「使いものになる家・ならない家」というレッテルを貼っていくことは、とても辛い作業だったと山崎は振り返ります。

「赤や黄を貼られ、がっくり肩を落とす人を見るのは、本当に切ないことでした。グレーゾーンである黄色の幅が広すぎることに、特に胸が痛んで……。黄色をせめてもう2段階に——本当の意味での要注意と、注意は必要だが生活上は支障な

し、の2つに分けてあげられたら、というのが個人的な想いです」

「眠れぬ夜」を過ごす方々の一刻も早い不安解消を

しかし、そうした判定の如何以上に、不安を抱える方々と直に話ができたと、そして専門家の観点から助言ができたことには、大きな意義がありました。それが山崎の率直な想いです。

「家屋倒壊の恐怖が頭から離れず、未だ布団で寝ることができない。もう2ヶ月ずっと、玄関口に着衣のまま横になって夜を過ごしている、と憔悴きった方が大勢いらっしゃったのです。そうした



▶地震で激しく崩壊してしまった擁壁(下)



◀鉄骨ALC造の建物には、出隅部分の亀裂やALC板破損が多く見られた



▲モルタル塗りの外壁が、地震の揺れによってゆがみ、大きく剥がれ落ちてしまった。応急処置の様子が痛々しい



▶地震で激しく崩壊してしまった擁壁(上)と、地滑りを起こし、40センチほども断裂



◀木造2階建ての共同住宅は、ベランダ下部と開口部のモルタルに大きな亀裂が

今、そのためにできること

被災地の復興のために、
安心できる日本にするために、
建設会社としての責務を果たす



復興への道のりは恐らく、私たちが考えるよりも長く、険しいものになるでしょう。一日も早く被災地の方々に立ち直っていただくために、経済援助・実働支援はもちろん大切ですが、不安の払拭や、心の拠り所・安心の提供といった精神的なケアこそが、今後はより一層重要になってくるのではないのでしょうか。

建設業界の一員として 今回の震災に想う

津波による被害が甚大であったがゆえに、昨今は「山を切り崩し、造成後、家屋の建設を」という論調が主流になりつつありますが、住まいや社屋などの建設をお

▲津波により、一瞬にして全てが失われてしまった。元の姿がわからない光景に言葉も出ない



◀後ろの崖により津波の威力が弱められ、全壊を免れた家屋。残っている家は数少ない



考えの方には、まずは候補地の地盤を急に調査することをお勧めします。津波対策にはよい場所でも、土地の過去の状態や造成の具合によっては、地滑りや地崩れ、液状化の可能性なども考えられます。また現在の建築基準法では、次の大地震への備えは不十分という見方もあります。地勢や地形を鑑みて、各地域ごとに新スタンダード(条例や危険地域指定等)を設定できるような、柔軟な枠組み

が早晚必要となってくるかもしれません。今回の調査を経て当社は、「家を建て、暮らしを築く」建築業の責務の重さを改めて受け止めています。地震によらず、災害全般の影響が極力小さくあるような建物をお客さまに提案すること。そのために最も善の技術を常に備えておくこと。そして、安心と安全をお届けするべく力を尽くすこと——そんな想いを強く、深く抱きました。

宮城県仙台市

「せめてもの安心を贈りたい」——社員を想う“心”に打たれた仙台訪問



▲汚泥とがれきの撤去をようやく終えた、お取引先の会社。建物だけがかろうじて残る痛ましい光景に

お取引先を訪ねて、仙台空港近くへ赴いたのは、4月9日。津波被害の衝撃的な映像が繰り返し報道された地であり、私もかなりの覚悟をもってこの日に臨みましたが、震災から1ヶ月の被災地の現状は、「想像を絶する」としか表現できな

いものでした。埃なのか土砂なのか、あるいは何かの残骸なのか。もうもうと粉塵が舞うなか、目に映る光景は痛ましいものばかりでした。柱と天井しか残っていないビル。一面のがれきの山。無惨な形で畑に寄

せ上げられた多数の車。その「元は畑であった」土地も、今はただ一面の汚泥の原と化していました。お客様の会社の被害も、同様に甚大なものであったことは言うまでもありません。

しかし今回の訪問の目的は、実は被害状況の確認のためではなく、ある要望に基づき現地調査を行うことでした。それは、会社の敷地に波消しブロック(テラポット)を置きたい、という切なる願いだったのです。

津波により心に計り知れない傷を負った社員のために、敷地内にテラポットを並べたい。せめてもの「安心感」を社員に贈りたいのだ、と——。この案件が叶った瞬間には、当社も心よりの尽力をさ



▶営業本部 不動産グループ 松永隆雄 参画
「波打ち際でなくて構わない、社員の目の届くところにこそブロックを置きたい」という言葉がずしりと胸に響きました」

せていただく所存であります。変わり果てた土地を、がれきを満載にして走る何台ものダンプカー。そうした光景を見るにつけ、我々建設業が果たすべき役割の重みを痛感しました。復興に携わり、直接の助力となることの責任を心に刻んだ仙台訪問でした。

明日への備えとなる松永建設の耐震改修工事 ~補助制度を活用して、より安全な建物に~

現在、国や県から市町村まで、さまざまな行政単位で民間建築物の耐震改修工事への補助制度があり、上手に活用することで大幅な負担軽減が可能になります。

埼玉県下における補助金を助成する制度の状況を大筋でご説明すると、戸建住宅向けの補助は主に市町村で行っています。住宅以上の規模の民間施設——店舗や各種学校、老人ホームなどの福祉施設、病院、共

同住宅など——は、主に県が担当しますが、さいたま市、春日部市、越谷市、川口市、川越市などの所管行政庁11市においては各市で補助を行います。また、省庁を軸として国が補助を行うケースもあります。

また、この5月に公布され、埼玉県の新たな取り組みとして注目を集めているのが、私立幼稚園への耐震補助事業です。これまで公立のみを対象としていた補助枠が、未来

を守り育てる事業として、初めて私立へも拡大されることになりました。これにより「耐震補強工事」は1億円を上限とし、対象工事費の半分の補助されます。また「耐震を伴う改修工事」に関しては1億円を上限とし、対象工事費の1/3が補助されることとなります。

建物の強度基準として現在採用されている「新耐震基準」。この新耐震基準の設定以前(昭和56年5月31日以前)に建築された建

物であれば、いま一度、強度を確認されることをお勧めします。命を守るべき建物が、命を奪う建物であってはならない。未来を輝かせるのは、今からの「備え」です。

松永建設ではご紹介した補助制度をフル活用した耐震診断や工事はもちろんのこと、耐震をお考えの建物に見合った制度の選択、申請、折衝までを一貫して請け負っておりますので、ぜひご相談ください。

大震災
そのとき

真心込めた迅速な対応で、未曾有の震災から患者さんを守る

医療法人 慈正会 丸山記念総合病院様



▼かねてより修繕工事を
行わせていただき、先頃、
外壁の塗り替え工事が完
了した病院の側面部分



丸山記念総合病院
中山 正事務局長



丸山記念総合病院
丸山 正理事長



セルルス・エンジニアリング事業部
宮織グループ 島村 宜行グループ
リーダー



「病院というのは、患者さんの命を預かる施設です。一方で、地震は命を脅かす危機。その危機に直面したときに、病院としてとるべき対応の重要さを改めて感じました」と語るのは、丸山記念総合病院の丸山正理事長。震災当日、長く、そして何度も続く激しい揺れにさまざまな器具が落下するなか、一部でスプリンクラーの配管が壊れ、大量の水が流れ出す。建物の構造自体にはなにも問題はありませんでした。それが地震直後の状況でした。

丸山記念総合病院は明治29年の開院。今年で創立115年を迎える、地域の方々の健やかな暮らしの拠り所です。その患者さん方の安全をさらに確保するため、余震が続くなかで職員の皆様は、患者さん方をより築年数が浅い新館へ移したそうです。

「職場柄、年に複数回の防災訓練を欠かさず行っていますから、その避難は比較的スムーズだったと言えるでしょう。しかしながら今回は、想定を越える大きな災害です。患者さんはもちろ

んのこと、使命感を持って、介助をしながら懸命に頑張る大勢の職員の身にも何かあってはと思い、日頃からお世話になっている松永建設さんに緊急対応をお願いすることにしました」

そう語る中山正事務局長の要請に応じて、当社の社員が馳せ参じたのは、余震の真ただ中でした。

駆けつけた宮織グループの島村宜行グループリーダーがまずしたことは、被害の程度を把握すると同時に、修繕の「即行開始」です。まだ病院内には大

地震のパニックが残っている状況下で、それは逆に早急に過ぎるのでは?との問いに、島村はかぶりを振って答えます。

「少々の亀裂であっても不安を抱く人は多いものです。とりわけこちらの建物は病院という命に携わる施設。まずはいち早く復旧に着手し、患者さんや職員の皆様は何よりも安心と安全を保障すべきなのです」

かけがえのない命のために――。さまざまな立場で強い使命感が行き交った3月11日でした。

丸山記念総合病院様へのお問い合わせは ▶▶▶ TEL: 048-757-3511 まで 【住所】〒339-8521 埼玉県さいたま市岩槻区本町2-10-5

大震災
そのとき

「一日も早い復旧のために」という思いが詰まった修繕工事

ユニー株式会社【アピタ岩槻店】様



▼震災時の対応を評価いただき、ユニー株式会社様より感謝状を頂戴いたしました。多大なるご厚情に身の引き締まる思いです

▼全フロアの営業再開を果たしたアピタ岩槻店



▶営業本部 法人営業グループ
高木 真係長



ユニー株式会社 開発本部 関東
開発部 建設担当チーフマネージャー
大久保 牧様



この度の東日本大震災は、壊滅的な被害を被った4県以外にも各地に大きな被害をもたらしました。ご存知の通り、ここ埼玉県も例外ではありません。お取引先である、ユニー株式会社様の店舗「アピタ岩槻店」も揺れにより、2階/3階の内装に大きなダメージを負いました。

ユニー様とは岩槻に出店された際に、当社が施工を請け負って以来のお付き合いです。震災時に当社担当者がアピタ岩槻店を訪れてみると……1階こそ

目立った損害も少なく1日休業しただけで済む程度でしたが、2階/3階は天井がたわむ大きな被害。耐震基準を満たす建物だったため構造自体にはダメージはありませんでしたが、あちこちで陳列棚や什器が転倒するなど、内装に損傷が目立ちました。

状況を検分し、修繕に必要な人手をかき集め、その後はすぐさま復旧工事へ。不眠不休に近い体制で工事を進めた結果、ようやく2階/3階部分が営業再開に至ったのは、震災からちょうど

3ヶ月となる6月11日。いかに被害が深刻であったかがうかがえます。

「店舗の状況を目にしたときは、正直なところ、再開のめどに関しては全く想像が付きませんでした」と振り返るのは、ユニー株式会社 建設担当チーフマネージャーである大久保 牧様。被害もさることながら、当時の通信網の麻痺と恐慌状態にも近い世情では、到底、スムーズに復旧工事へ入ることはできないだろう、とっていたそうです。事実、関係各社への電話は全てつ

ながらず、震災翌日にやっとながったのが、偶然にも当社だったそうです。

「あの状況下、最大限に尽力いただいたことは、感動に値することでした。3ヶ月という短期間で店舗再開にこぎ着けることができたのは、ひとえに、松永建設の地元企業ならではのフットワーク、そして「地域のために」という意気と熱意のおかげだと思っています」と、大久保様から身に余る評価を頂戴しました。そのお言葉を受け止め、今後とも地域のために邁進して参ります。

アピタ岩槻店様へのお問い合わせは ▶▶▶ TEL: 048-792-2211 まで 【住所】〒339-0013 さいたま市岩槻区大字大口800-1

たてもの
最前線

太陽光発電システムを中心に、自然と共生する新たな住宅リフォームをご提案 人と環境にやさしいエコなリフォームがスタート!



MATSUNAGA
松永建設の
エコリフォーム
【住宅リフォーム事業】

先進技術によって、自然の恵みを最大限に活かす家へ。それが松永建設が提案する新たなリフォームの形【エコリフォーム】です。環境、未来、そして家族にやさしい住まいを生み出します。

エコなリフォームで、暮らし快適・進化形

太陽光発電システム・エコキュート&IHクッキングヒーター・水回り・断熱・LED照明・バリアフリー改修・耐震診断・耐震補強・屋根の葺替え・外壁補修等。

株式会社 松永建設

「より長く、より快適に使える住まいへ」——物心両面において、暮らしの何よりの拠り所である我が家。それをできるだけ丈夫に保ち、長く使うことは、最大のエコなのではないでしょうか。先進技術によって自然の恵みを最大限に活かす、住宅の再生事業「エコリフォーム」が、この夏いよいよスタートします。「省エネ」から一歩進んだ「創エネ」へ

と、発想の転換が進む昨今、改めて注目を集めている太陽光発電システムを始め、家の安全・安心と長寿化を同時に可能にする耐震補強工事まで、豊富なエコリフォーム・メニューをご用意していますので、ご家庭に必要なものを選び、組み合わせただけです。環境、未来、そして家族にやさしい家をエコリフォームで造りませんか。



- エコリフォーム① 太陽光発電システム**
自然の恩恵に最大限あずかる暮らしが叶います。停電など非常時の備えとしても◎。
- エコリフォーム② エコキュート&IHクッキングヒーター**
CO2排出量&光熱費を同時にセーブ。太陽光発電と組み合わせるとより効果的です。
- エコリフォーム③ 水回りリフォーム**
最新型のシンクやバスを導入すれば、使いやすさアップと共に水道代の節約も可能に。
- エコリフォーム④ 断熱リフォーム**
暖房や冷房の効率を高める断熱リフォームを行うと、省エネ&省・光熱費になります。
- エコリフォーム⑤ LED照明**
白熱電球の約1/6の消費電力で済む次世代照明LED。未来を明るく照らしましょう。

- エコリフォーム Menu**
組み合わせ自在のエコリフォーム・メニュー。チョイスに合わせて、最適なプランをご提案します!
- エコリフォーム⑥ バリアフリー改修**
身体への負担を減らす・アクシデントの芽を摘む改修で、「いつまでも安心」の空間を。
 - エコリフォーム⑦ 耐震補強**
プロによる耐震診断と適切な耐震補強で、「強い家」「長持ちする家」を造りましょう。
 - エコリフォーム⑧ 屋根の葺替え**
家の耐震性&耐久性を向上させるなら、軽量の屋根材への葺替えがおすすめです。
 - エコリフォーム⑨ 外壁補修**
10年前後が外壁メンテナンスの目安。再塗装などで手軽に美観と耐久性が手に入ります。

エコリフォームに関するお問い合わせは
営業本部
TEL: 048-798-1767 まで

建設の
現場から

この夏、岩槻に3棟竣工! 来年9月には浦和駅前に12階建てのタワーが完成 賃貸マンション「ABオービット」続々着工&竣工!



ABオービット URAWAタワー 【2012年9月完成予定】
さいたま市浦和区(浦和駅徒歩1分) / RC造12階建て / 1K~3LDK 44戸+店舗



ABオービット 岩槻区西原 【2011年8月完成予定】
さいたま市岩槻区(岩槻駅徒歩10分) / RC造2階建て / 2LDK 8戸



ABオービット 岩槻区城町 【2011年8月完成予定】
さいたま市岩槻区(岩槻駅徒歩22分) / RC造2階建て / 2LDK 6戸



ABオービット 岩槻区西口前 【2011年9月完成予定】
さいたま市岩槻区(岩槻駅徒歩5分) / RC造4階建て / 1K~2LDK 20戸

土地という資産の有効活用法として、あるいは節税・相続税対策として、地主の皆様よりご好評をいただいております鉄筋コンクリート賃貸マンション「ABオービット」が、この夏も続々と竣工・建設中です。

浦和駅から徒歩1分という絶好の立地で建設が進んでいるのが、「URAWAタワー」。タワーの名称に相応しい、12階建て戸数44戸+店舗を誇る大規模マンションです。2012年9月予定の竣工後は、この「URAWAタワー」が浦和駅東口の新たな彩りとなることでしょう。屋上に太陽光発電システムを備える、先進マ

ンションであることも見逃せません。

また岩槻区内では、3棟がまもなく完成予定。そのうち西原と城町に建設中の2棟は、2階建ての瀟洒な低層造りが特徴です。低層マンションといえば軽量鉄骨によるALC造が相場となりますが、こちらの2棟においては、鉄筋コンクリート(RC造)による堅牢でロングライフな住宅が実現しました。周囲の環境との調和を目指した、落ち着いた趣が魅力です。

岩槻駅西口前では、4階建て20戸のABオービットもまもなく竣工を迎えます。オーナー様はマンション経営がこのABオービットで数棟目となる方で、堅

固なRC造で坪40万円~という建築費と、12%の高利回りによる抜群のコストパフォーマンスに着目して、当社のABオービットを選んで下さったといいます。

岩槻の3棟はすべてこの8月、9月に竣工となります。完成後は引き続き、松永都市開発株式会社にて賃貸物件の管理を行いますので、入居ご希望の方は、ぜひお早めにお問い合わせ下さい。

ABオービットに関するお問い合わせは
営業本部 不動産グループ
TEL: 048-798-1767 まで
入居に関するお問い合わせは
松永都市開発賃貸情報プラザ
TEL: 0120-120-879 まで

賃貸住宅ミニフェア in 大宮

盛況のうちに閉幕。ご来場、誠にありがとうございました!



前号でお伝えした「賃貸住宅ミニフェア2011 in 大宮」が、去る5月18日に開催されました。当フェアは、賃貸住宅に関するありとあらゆる情報が集まるイベント。不動産や賃貸の概況に関するセミナーをはじめ、各種建材や装備の情報、知って得する賃貸経営術の成功例まで、有益な情報が一挙に入手できるチャンスとあって、賃貸住宅経営に興味のある方、土地活用をお考えの地主の方など、多数が来場されました。

松永建設もブースを出展し、鉄筋コンクリート賃貸マンション「ABオービット」や、戸建賃貸住宅「ABキューブ」のご紹介・ご説明、完成物件などのパネル展示等を行いました。ABオービットの標準装備となっているエントランスの



▲パネル展示・建築映像などを用い、ABオービットの特徴やメリットをお客様にご紹介いたしました

御影石展示は、なかなか目に集めた様子です。当ブースまで足をお運びくださった皆様には、厚く御礼申し上げます。

当社では、賃貸経営や土地活用のご相談を随時受け付けておりますので、お気軽にお声掛けください。

松永建設社員一同と大樹会より義援金を寄付

被災地の一日も早い復興を願って——

この度、松永建設の社員一同、そして当社の協力会社からなる大樹会にて寄付を募り、東日本大震災の義援金として47万2千円の募金をいただきました。今回の寄付は、埼玉県防衛協会を通じて被災地に贈呈されることとなります。先日、埼玉県防衛協会会長である松永 功会長に、大樹会・竹内光男理事長と松永大祐社長から義援金を進上いたしました。今後とも被災地の皆様のお力になれるよう、活動を続けて参ります。



がんばろう東日本 岩槻から被災地へエールを贈ろう! “松永サマーフェス2011” 皆様ぜひお越しください!!

毎年、晩夏を彩る恒例のお祭りとして行われる「人形のまち岩槻まつり」。昨年はステージを設置し、社員有志のバンド演奏とともに、冷えたビールを楽しんでいただく「ビアガーデンフェスティバル」という趣向でお贈りしました。社員一丸となって盛り上がった様子をこのコラムでもご紹介させていただきましたので、ご記憶の方もいらっしゃるかと思います。

さて今年は? と考えたとき、頭をよぎるのは、やはり東日本大震災のことです。各地の夏祭りや花火大会などが自粛、あるいは節電への配慮から中止・延期になるケースも多いところ、我らが岩槻まつりは鎮魂の意を含め、決行されることになりました。ならばぜひ、「より意味のある祭りを、自分たち自身の手で作ら上げよう!」——そう

思い立ちました。

そして至った結論が、チャリティーイベントを兼ねた、昨年のスケールアップ版。今年もステージを中心としてご来場の皆様と絆を深め、当日、頂戴したフード・ドリンクなどの売上金を、すべて義援金として被災地に寄付することといたしました。歌声や演奏は残念ながら、私たちが声を張り上げてもまず当地には届かないでしょう。しかしながら、音楽に込めた想い、そして「東日本を元気に!」という気持ちと行動を、岩槻から贈りたく思います。

スケールアップ版といっても大層なことができるわけではありませんが、そこに誰もが立てるステージがある以上、ふさわしい活気が、もっともっと欲しい!...というわけで、今年は社員有志のバンド以外にも、ステージに立つ

てくれる参加者を大募集したいと思います。仲間同士のバンドでも、ギターを片手に歌うのも、マイクを握ってのカラオケもOK! 一人からでもグループでも、音楽に限らなくてももちろんOK! ぜひ「元気をくれる」エンターテイナーの皆さんの出演申し込みをお待ちしております。

当日はほかにも、お子さんたちが楽しんだり、日陰で休んだりできる子ども向けプレイエリアの設置も予定しています。暑い最中ではあると思いますが、一日笑顔で楽しんで、岩槻から目いっぱい元気を被災地に贈ろうではありませんか! 私たちは私たちのできることを精一杯やりましょう。8月21日には社員一同、皆様のお越しを笑顔でお迎えいたします。ぜひご家族でお出かけください。

松永建設が各メディアに続々登場!

日本経済新聞・埼玉新聞・テレビ埼玉にて当社の今をご覧ください



▲平成23年6月16日付 日本経済新聞

▲平成23年7月8日付 埼玉新聞

この夏、松永建設の事業が各メディアで紹介されています。

6月16日付の日本経済新聞には「ABオービット」事業に関する記事が掲載されました。5面でもご紹介している「URAWAタワー」建設を切り口に、節税対策や資産運用を計画する遊休地所有者に向けての推進事業として取り上げられています。

7月8日付の埼玉新聞には、当社が施工させていただいた、久喜市の新

井病院様の耐震補強工事モデル事業に関する記事が掲載。新井病院の関谷院長と当社の松永社長との対談を通して、耐震補強工事と医療施設のあり方や未来が語られています。

また7月30日(再放送は同31日)には、テレビ(テレビ埼玉)の番組「埼玉ビジネスウォッチ」に登場。ビジネスチャンス積極的につかむ注目企業として新井病院様とABオービットの両事業が紹介されますので、ぜひご覧ください。

国土交通省 関東地方整備局より 速報! 平成23年度 「工事成績優秀企業」に認定されました!

この度、松永建設は、特に優れた工事成績を収めた企業に対して国土交通省 関東地方整備局が認定を行う、平成23年度「工事成績優秀企業」認定書を授与されました。

「工事成績優秀企業認定」とは、工事成績評価の透明性確保と民間事業者の技術力の一層の向上を図ることを目的として創られた制度です。過去2カ年度の間に、3件以上完成した土木工事の工事成績評価の結果におい

て平均点が80点以上となった企業が、この工事成績優秀企業となり、関東地方整備局長より認定されます。

認定された企業は、中間技術検査の減免等の措置が得られ、また総合評価方式においても、企業の評価が優位になります。

この認定は、建設会社にとって大変名誉なことであり、今後も安全かつ高品質な工事を胸に邁進する所存です。次号にて詳細をご紹介します。

ステージ出演者大募集!! バンド・カラオケ etc...



▶昨年の様子。今年は出演者も増えてさらにパワーアップ!
【開催日】8月21日(日)
【開催時間】13:00~19:00
【開催場所】松永都市開発駐車場(岩槻駅徒歩2分)

ステージ出演者募集中!
事前登録制となりますので、出演希望の方は下記までご連絡ください
TEL: 048-798-1767